

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年3月21日(2008.3.21)

【公表番号】特表2003-522229(P2003-522229A)

【公表日】平成15年7月22日(2003.7.22)

【出願番号】特願2001-557925(P2001-557925)

【国際特許分類】

C 08 F 290/12	(2006.01)
C 09 D 5/00	(2006.01)
C 09 D 109/00	(2006.01)
C 09 D 151/04	(2006.01)
C 09 D 201/00	(2006.01)
C 09 J 109/00	(2006.01)
C 09 J 151/04	(2006.01)
C 09 J 201/00	(2006.01)

【F I】

C 08 F 290/12	
C 09 D 5/00	Z
C 09 D 109/00	
C 09 D 151/04	
C 09 D 201/00	
C 09 J 109/00	
C 09 J 151/04	
C 09 J 201/00	

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

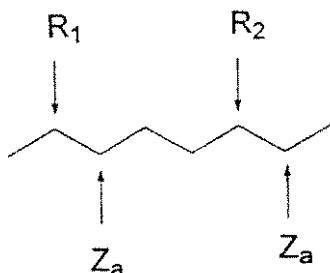
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】次の一般式で表されるセグメントから構成されるポリマー鎖を有する未硬化ポリマー樹脂組成物に、反応性不飽和結合も有する環状酸無水物または二塩基酸の半エステルが酸性相乗剤として混合された組成物：

【化1】



式中、次の記号：

【化2】



は、飽和もしくは不飽和なポリマー主鎖のセクションであって、酸無水物、アミド、エーテル、エステル、アリールおよび環状基から成る群から選択される1もしくは複数の基を有していてもよいポリマー主鎖セクションを示し、

矢印は、ペンドント基が主鎖のいずれの位置に結合していてもよいことを示すと共に、ポリマー樹脂の各分子の各セクション中に種々の量のペンドント基が存在していてもよいことを示し、

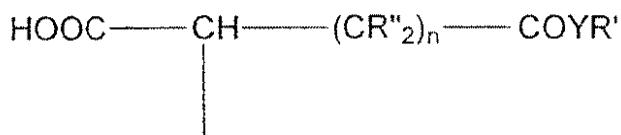
Zは、組成物の架橋または安定性を実質上阻害しないヒドロキシカルビルを示し、aは0もしくは1もしくは2を示し、

R<sub>1</sub>は化学的に結合したカルボキシルとエステル、チオエステルもしくはアミド部分の組合せを有する基を示し、また、

R<sub>2</sub>は化学的に結合したカルボキシル部分の組合せを有する基を示す。

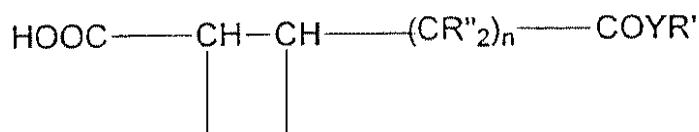
【請求項2】 R<sub>1</sub>が次式：

【化3】



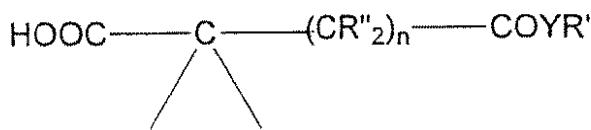
または、次式：

【化4】



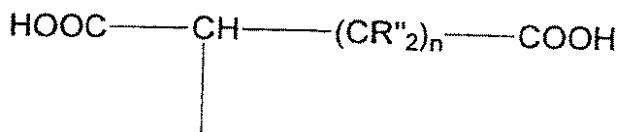
または、次式：

【化5】



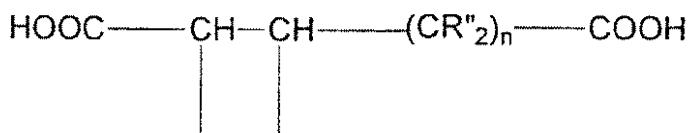
を示し（式中、R'は非環式化合物、メタクリル化合物、アリル化合物またはビニルエーテル化合物に由来する不飽和結合含有部分を示し、R''は非求核性置換基を示し、nは0~25の整数を示し、Yは-C、-N、-SまたはPを示す）、また、R<sub>2</sub>が次式：

【化6】



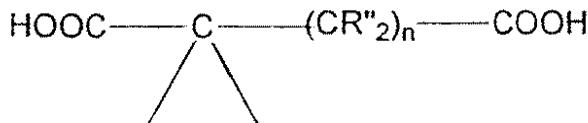
または、次式：

【化7】



または、次式：

【化8】



を示す（式中、R''は非求核性置換基を示し、nは0～25の整数を示す）請求項1記載の組成物。

【請求項3】 aが0である請求項1または2記載の組成物。

【請求項4】 ポリマー主鎖がポリブタジエンである請求項1記載の組成物。

【請求項5】 樹脂組成物が約1000～約300000の分子量を有する請求項1記載の組成物。

【請求項6】 樹脂組成物が約2000～約100000の分子量を有する請求項1記載の組成物。

【請求項7】 有機溶剤に分散された請求項1記載の組成物。

【請求項8】 架橋開始剤と混合した請求項1記載の組成物。

【請求項9】 反応性不飽和結合が（メタ）アクリレート官能性結合である請求項1記載の組成物。

【請求項10】 酸性相乗剤がモノ（メタクリロイルオキシ）エチルマレートである請求項1記載の組成物。

【請求項11】 ポリマー鎖の環状酸無水物に反応性不飽和結合含有化合物と水を反応させることによって調製される請求項1記載の組成物。

【請求項12】 ポリマーがポリブタジエンである請求項11記載の組成物。

【請求項13】 酸無水物が無水コハク酸である請求項11記載の組成物。

【請求項14】 反応性不飽和結合含有化合物がアクリレートまたはメタクリレートである請求項11記載の組成物。

【請求項15】 反応性不飽和結合含有化合物が2-ヒドロキシエチルメタクリレートである請求項14記載の組成物。

【請求項16】 ポリブタジエンの無水マレイン酸にアクリレート含有化合物またはメタクリレート含有化合物、水および（メタ）アクリレート官能性結合も有する環状酸無水物もしくは二塩基酸の半エステルを反応させることによって調製される請求項1記載の組成物。

【請求項17】 下記の工程（a）～（d）を含む、2つの支持体の間に接着層を形成させる方法：

（a）請求項1記載の組成物を準備し、

（b）該支持体の少なくとも一方へ該組成物を塗布し、

（c）これらの支持体を該支持体間に介在する該組成物と共に接触させ、次いで、

（d）該組成物を、電磁放射線硬化法、電子ビーム硬化法、熱硬化法および酸化性乾燥硬化法から成る群から選択させる硬化法による処理に付す。

【請求項18】 組成物がさらにキャリヤーを含有する請求項17記載の方法。

【請求項19】 キャリヤー中の組成物の濃度が約1～約99重量%である請求項18記載の方法。

【請求項20】 キャリヤーが反応性希釈剤である請求項17記載の方法。

【請求項21】 下記の工程（a）～（c）を含む、支持体上に接着性硬化ポリマー塗膜を形成させる方法：

（a）請求項1記載の組成物を準備し、

（b）該組成物を支持体に塗布し、次いで

（c）該支持体上の該組成物を、電磁放射線硬化法、電子ビーム硬化法、熱硬化法および酸化性乾燥硬化法から成る群から選択される硬化法による処理に付す。

【請求項22】 組成物がさらにキャリヤーを含有する請求項21記載の方法。

【請求項23】 キャリヤー中の組成物の濃度が約1～約99重量%である請求項22記載の方法。

【請求項24】 キャリヤーが反応性希釈剤である請求項22記載の方法。

【請求項25】 請求項1記載の組成物の硬化組成物で被覆された支持体。

【請求項26】 支持体が、金属、ガラス、プラスチックおよびゴムから成る群から選択される請求項25記載の支持体。

【請求項27】 請求項1記載の組成物の硬化組成物で接合された支持体。

【請求項28】 支持体が、金属、ガラス、プラスチックおよびゴムから成る群から選択される請求項27記載の支持体。